

平成27年度羽幌町環境審議会 会議録

- 1 開催日時
平成28年2月8日（月） 午後1時30分～午後2時00分
- 2 開催場所
羽幌町役場2階 幹部会議室
- 3 出席委員及び欠席委員の氏名
(1) 出席委員 忠津 章、蝦名 修、重原 伸昭、和田 誠、渋谷 弘己、
濱野 孝、藤井 智子、岩澤 光子
(2) 欠席委員
- 4 説明のため出席した事務局職員の氏名
町長 駒井 久晃
町民課 課長 室谷 眞二
町民課環境衛生係 係長 山田 太志
- 5 会議の公開、非公開又は一部公開の別
公開
- 6 会議を非公開又は一部公開とした場合は、その理由
- 7 議題及び議事の要旨
※議事に入る前に各委員に対し町長より委嘱状を交付
(1) 町長挨拶

(2) 会長及び副会長の選任について
忠津会長を選出。
会長が、蝦名副会長を任命。

(3) 羽幌町の公害の現状報告
別紙議案に基づき事務局より一括報告。
・特記事項
公共水域の水質検査については2回実施し、福寿川においては、2回目の採水
場所を上流部1か所追加し検査を実施した。

(4) その他

質問：環境を守る基本計画の今後の見直し、方針等どのように考えているのか。

回答：現計画については平成 28 年 3 月をもって契約期間が終了する。作業としては遅れているが、来年度 1 年かけて新たな計画を策定したいということで昨年 11 月に環境審議会でも承認いただいたところ。策定にあってはコンサルタント会社への委託も検討しており予算要求をしている。詳細については今後詰めていくが、町民の意見をできる限り取り入れた計画としていきたいと考えている。

質問：これまで 10 年間の評価をし、町民の意見を取り入れた計画をお願いしたい。

回答：町内の事業所や団体へのヒアリングなど、できるだけ多くの意見を聴いて策定したい。具体的には今後詰めていきたい。

質問：下水道の普及率はこの 1 年でどの程度増えたのか。

回答：平成 27 年 12 月末現在の普及率は 62.6%。大きくは伸びていないが昨年より数パーセント伸びている状況である。

質問：下水道普及に向けた新たな取組はあるのか。

回答：下水道接続のための助成制度が今年度をもって終了するが、普及率向上に向け、3 年間延長するための要綱整備の準備を進めている。正式には 3 月議会で承認いただいた後に決定となる見込み。また、これまでも実施しているが、個別訪問をして接続に向けたお願いをしていくことも考えている。町営住宅についても一部接続していない住宅があるため、新年度から計画的に接続をしていきたいと考えている。

質問：3 年間延長して最終的な目標は何%を想定しているか

回答：区域内すべての世帯に接続していただくのが将来的な目標と考えている。

質問：ミックス事業は下水道普及率 50%以上でなければ補助金の交付対象にならないと聞いたが、羽幌町の場合はどうなのか。

回答：苫前町と羽幌町の下水道普及率が 50%超えることが条件とされているが、4 月 1 日の供用開始までにはクリアは難しい見通し。